

平成28年度 第1回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

審議日：平成28年4月4日、4月5日

場 所：各委員への個別説明による審議

出席者：〔委員〕林学長、田中人文学部長、山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、
有馬教務部長、大賀学生部長、年森委員、長友委員、近藤委員
〔事務局〕杉松事務局長、鈴木企画総務課長、小松学務課長補佐

配布資料：資料1 宮崎公立大学学長選考会議委員の選出について

議事1 宮崎公立大学学長選考会議の委員の選出について

資料1および鈴木企画総務課長からの説明に基づき、学長の任期満了に伴う学長の選考ため、公立大学法人宮崎公立大学定款第11条の第5項第2号の規定に基づき教育研究審議会委員の中から山口委員、宮元委員、近藤委員の3名を宮崎公立大学選考会議の委員として選出することについて審議を行い全委員から了承された。

平成28年度 第2回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成28年4月26日（火）10:00～11:30

場 所：中会議室

出席者：〔委員〕 林学長、田中人文学部長、山口附属図書館長、大賀学生部長、
有馬教務部長、宮元地域研究センター長、長友委員、近藤委員
（欠席）年森委員

〔事務局〕 杉松事務局長、鈴木企画総務課長、福岡学務課長、山本学生・就職支援室長
三樹企画総務課長補佐、小松学務課長補佐、川嶋主任主事

配付資料

資料1 平成28年度組織改編について

資料2 宮崎公立大学における障がいのある学生への支援に関する基本方針（案）

資料3 宮崎公立大学における発達障がいのある学生への支援（案）

資料4 障害を理由とする差別の解消の推進に関する宮崎公立大学教職員対応指針（案）

資料5 【参考】障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

資料6 平成28年度 入学者の状況

資料7 平成27年度就職状況等

資料8 平成28年度科学研究費等採択状況

資料9 平成28年度公開講座（自主講座）

資料10 宮崎公立大学市民講座2016

資料11 宮崎公立大学学長の選考についての公示内容

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

報告 1 事務局組織について

鈴木企画総務課長から、資料 1 に基づき平成 28 年度から学務課学生係が所管していた学生支援関連の業務を学生・就職支援室学生係の所管としたこと、次に入試広報の充実を図るために新たに学務課入試広報係を新たに設けたこと等が報告された。

議事 1 宮崎公立大学における障がいのある学生への支援に関する基本方針について

大賀学生部長から、資料 2 に基づき、宮崎公立大学における障がいのある学生への支援に関する基本方針について「本学は、本学に在籍する学生が、障がいの有無や程度によって、分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら学生生活を送ることができるよう支援を行います。」という第 1 項をはじめ 4 項目の基本方針について説明がなされた。

審議の結果、了承された。

議事 2 宮崎公立大学における発達障がいのある学生への支援について

大賀学生部長から、資料 3 により、「宮崎公立大学における発達障がいのある学生への支援について「支援にあたっては、個別の事案ごとに、「合理的配慮」の提供等について、学内関係部署及び教職員が連携して対応するものとする。」という基本方針それに伴うや支援項目と担当者、支援申請の受付窓口等について説明がなされた。

委員からの質問に応じ、「合理的な配慮」の実施にあたっては必ずしも診断書を必要とはしていないこと、担当部署間の情報共有もある程度すすめられていること、学生相談室では学生の支援に関連して教員や職員からの相談も受けていること等が追加して説明された。

委員からは、教職員全体として発達障がいへの理解が重要であることまた学生の支援に携わる教員や職員が困った時に専門的なことについて尋ねたり、支援の取り組みについて相談したりできる場所や体制等をつくってあげることが大切である旨の意見がだされた。

審議の結果、了承された。

議事 3 「障害者差別解消法」施行に伴う「宮崎公立大学教職員対応指針」について

大賀学生部長から資料 4 に基づき、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する宮崎公立大学教職員対応指針」について、基本方針、推進体制、監督者の責務、不当な差別の禁止、合理的配慮の提供、相談体制の整備、問題解決等のための体制整備、教職員への研修・啓発等について説明がなされた。

委員からは、本人はすごく困っているけれども、何を相談してよいかわからない場合や困っていることを主張できない学生の場合でも相談できて支援できるような体制づくりや相談窓口の周知も大切である旨の意見が出された。

審議の結果、了承された。

報告2 入学者の状況等について

福嶋学務課長から資料6により、平成28年度の入学者は合計210名で、男女別では、男55名、女155名、県内外別では、県内99名、県外111名であったこと、また、編入学生については2年次編入1名、3年次編入2名の合計3名であったことなどが報告された。

委員からの質問に応じ、県外からは鹿児島の高校から入学が多いことが追加して説明された。

委員からは、県外においても入学者の多い高校についてはそのつながりを大事にしていく意味からも推薦枠の検討も必要と思われる旨の意見が出された。

報告3 平成27年度就職状況等について

山本学生・就職支援室長から、資料7に基づき平成27年度就職内定者は178名で就職内定率が平成26年度と同じく98.3%であったこと、県内就職者が69名、県外就職者109名で、県内高校出身者82名のうち県内就職者57名、県外就職者25名、県外高校出身者96のうち県内就職者12名、県外就職者84名あったことなどが報告された。

報告4 平成28年度科学研究費等採択状況について

鈴木企画総務課長から資料8に基づき平成28年度科学研究費採択状況について、代表としての採択・5件、分担者としての採択8件であったことが報告された。

報告5 平成28年度公開講座（自主講座）について

宮元地域センター長から資料9に基づき、平成28年度の公開講座（自主講座）として古文書講座（入門編）など4つの講座が開かれることなどが報告された。

報告6 市民講座について

鈴木企画総務課長から資料10に基づき、宮崎公立大学市民講座として「ジャズとアメリカ文学入門」を5月25日（水）から7月27日（水）までの毎週水曜日、計10回開催することなどが報告された。

報告7 宮崎公立大学学長の選考について

鈴木企画総務課長から資料11に基づき、宮崎公立大学学長の選考について、現学長の任期が平成29年3月31日までであること、次期学長の任期は平成29年4月1日から平成33年3月31日までであること、学長候補の推薦受付期間が平成28年5月2日から平成28年8月31日までであること、選考終了を平成28年12月末日とすることなどが説明された。

次回開催日時 5月31日（火） 10:00 開催予定

平成28年度 第3回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成28年5月31日（火）10:00～11:30

場 所：中会議室

出席者：〔委員〕 田中人文学部長、山口附属図書館長、大賀学生部長、有馬教務部長、
宮元地域研究センター長、年森委員、近藤委員

〔事務局〕 杉松事務局長、鈴木企画総務課長、福嶋学務課長、山本学生・就職支援室長、
三樹企画総務課長補佐、小松学務課長補佐、福元企画係長、川嶋主任主事

欠席者：林学長、長友委員

配付資料

- 資料1 平成27年度業務実績報告
- 資料2 教員採用について
- 資料3 平成28年度教員選考会議等スケジュール（案）について
- 資料4 宮崎公立大学開放授業実施規程の改正について
- 資料5 平成28年度後期開放授業開講科目について
- 資料6 附属図書館の利用状況について
- 資料7 平成29年度及び平成30年度研究支援年の適用者選考について
- 資料8 平成28年熊本地震に係るMMU緊急修学支援奨学金等について

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学部長の進行の下、議事に入った。

議事1 平成27年度業務実績報告について（教育・研究部門）

杉松事務局長から資料1に基づき、平成27年度実績について、大学の沿革、組織、学生の状況など大学の概要について説明がなされた。

次いで教育に関する目標、研究に関する目標、学生支援に関する目標、大学改革に関する目標、地域貢献に関する目標、国際化に関する目標などに関する実績と評価について説明がなされた。

委員から、授業見学者が少ないことについて、授業改善への機運が本学の1つの教育文化までになっていないのではないか、授業改善を認識されていない先生方も改善を意識させる取り組みが必要ではないかとの意見がだされた。

また委員から、本学の市民講座は一コマ一コマがよく計画され、講義だけでなく実演、体験がうまく絡みあわせられ参加者が有意義に思えるような講座になっており、この市民講座からも先生方が授業改善について学ぶ機会はあると思う、大学の文化として授業改善という雰囲気を高めてもらいたいとの主旨の意見が出された。

さらに委員から、学生に授業評価された後ではなく、常に自分の授業には改善の要があると意識している姿勢を評価することも大切でないかという意見も出された。

有馬教務部長から、委員からの意見を踏まえてFD検討部会で検討、改善していきたいとの意見が出された。

審議の結果、了承された。

議事2 教員新規採用について

鈴木企画総務課長から資料3により、教員選考会議等職員採用のスケジュールについて説明がなされ、また、教員の採用に関して資料2により「教育の原理と課程」等担当、「国際経営論」等担当、「英米文学、英語」等担当、「英語、英語コミュニケーション」等担当各1名、計4名を平成29年度に新規に採用することが望ましいこと、それぞれの採用を必要とする理由、専攻分野、担当科目、応募資格等について説明がなされた。

委員からの質問に応じ、学位等の資格の表現について、「またはそれと同等かそれ以上」を「またはそれ以上」と一部修正することを確認した。

審議の結果、了承された。

議事3 宮崎公立大学開放授業実施規程の改正について

宮元地域研究センター長から資料4に基づき、開放授業において志望者が定員を上回った場合の受講者選考方法について、抽選を明記する宮崎公立大学開放授業実施規程の改正を行い、公平性を明確にする旨の説明がなされた。

審議の結果、了承された。

報告1 平成28年度後期開放授業開講科目について

宮元地域研究センター長から資料5に基づき、平成28年度後期に18科目の開放授業を予定し、科目名、担当教員及び今後の予定について報告がなされた。

報告2 附属図書館の利用状況について

山口附属図書館長から資料6により 附属図書館の利用状況について前年度に比較して利用者が増加していること、また学生アンケートの結果に基づき、実施している改善策などの報告がなされた。

委員からの授業における図書館活用に係る質問に応じ、シラバス等で文献の案内をしている等が追加で説明された。

報告3 平成29年度及び平成30年度研究支援年について

鈴木企画総務課長から、資料7により、平成29年度及び平成30年度研究支援年について、8月22日(月)を応募締切日とし、9月上旬に選考審査会を開催することなどについて報告がなされた。

委員からは今後、もっと研究に専念できるよう制度を検討していく必要があるとの意見が出された。

報告4 平成28年熊本地震に係るMMU緊急修学支援奨学金等について

小松学務課長補佐から資料8により、平成28年熊本地震で主たる学資負担者または学生本人の居住する住宅が半壊以上している場合は、授業料の半額相当を授業料と相殺する形でMMU緊急修学支援奨学金を支給する予定であることや支給に関する事前相談が5月13日現在で2名であることなどが説明された。

平成28年度 第4回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成28年8月23日（火）10:00～11:30

場 所：中会議室

出席者：〔委員〕 林学長、田中人文学部長、山口附属図書館長、大賀学生部長、有馬教務部長、
宮元地域研究センター長、年森委員、長友委員、近藤委員
〔事務局〕 杉松事務局長、三樹企画総務課長補佐、小松学務課長補佐、竹下就職支援係
長

欠席者：なし

配付資料

- 資料1 クラブ・サークル顧問制度ガイドライン（案）
- 資料2 蔚山科学大学校と交流の見直しについて
- 資料3 学生の留学について
- 資料4 「保護者説明会」及び「保護者のための就職ガイダンス」のご案内
- 資料5 キャンパスガイドの実施状況について
- 資料6 平成28年度就職内定状況について

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学部長の進行の下、議事に入った。

議事1 クラブ・サークル顧問制度ガイドラインについて

大賀学生部長から資料1に基づき、現在、本学の学生は体育系のクラブに16団体469名、文化系のクラブに18団体455名、文化系サークルに6団体103名が所属しており、それらの顧問についての手引き書はあるが、本学における課外活動と顧問の位置付け、顧問教員の役割を明確化するためにクラブ・サークル活動顧問制度ガイドラインを作成する提案がなされた。

また、学外指導者の把握として、現在指導をお願いしている5団体5人の学外指導者に対し「ハラスメント防止啓発」「教職員と学生との飲酒に関するガイドライン」などを顧問が面接して説明した旨の報告があった。

次いで、三樹企画総務課長補佐からクラブ活動に伴う顧問教員の出張については、学生以外の大学代表者の同行が必要な場合に顧問教員の同行を業務として認める旨の説明がなされた。

審議の結果、了承された。

議事 2 蔚山科学大学校と交流の見直しについて

宮元国際交流部会長および小松学務課長補佐から資料 2 により、蔚山科学大学校との交流内容について、長期の交換留学生については本学から韓国語検定 TOPIK II 3 級以上の学生を 1 年間 1 名派遣し、蔚山科学大学校から原則として日本語能力試験 N2 以上の学生を半年間 2 名受けいれていることや相互に受け入れる 3 週間程度の短期研修を実施し研修費用は相殺になっていること及び蔚山科学大学校から推薦編入学生を受け入れていることなど現状の説明がなされた。

次いで、蔚山科学大学校が 2015 年度入学生から実務外国語科日本語専攻の募集を停止し、本学に派遣される学生の日本語能力が N 2 レベルに達していない場合があることや短期研修生の希望者が少ない現状から、推薦編入学の受入制度は維持するものの、長期の交換留学、短期研修については休止という方向で交流の見直しを進めていきたい旨の説明がなされた。

審議の結果、提案した内容にそって見直しを進めていくことが了承された。

報告 1 学生の留学について

宮元国際交流部会長から、資料 3 に基づきバンクーバーアイランド大学 1 名、蘇州大学 4 名、蔚山大学校 2 名、蔚山科学大学校 1 名を派遣する旨の説明がなされた

次いで、平成 28 年度後期の私費外国人科目等履修生として、蔚山科学大学校から 1 名、蘇州大学から 4 名を受け入れることの報告がなされた。

報告 2 保護者説明会等の開催について

三樹企画総務課長補佐から資料 4 に基づき、保護者説明会を平成 28 年 11 月 6 日に開催し、全体説明会の後、留学や学生生活、教務、就職などについて個別相談会を予定していることなどの説明がなされた。

委員からの質問に応じ、昨年の個別相談では留学関連の相談件数が一番多く、就職関連の個別相談時間が長くなることが多く 1 時間程度に及んだこともあったとの説明がされた。

委員からは、新入生の保護者の不安や疑問を解消するため、1 年生を対象に絞った保護者説明会を学年の早い時期に実施し、全体を対象とした保護者説明会を別に開催してはどうかとの意見があった。

また、「親御さんが気づいてあげてはじめてわかる。」ということもあるので全体会の学生支援の説明の中に「ハラスメント防止」「ブラックバイト関連」などの話もぜひ入れてほしい旨の意見があった。

さらに、保護者の方の疑問や不安を解消することも大切だが、この機会にどのようなメッセージを発信するのも大切で、概要の説明などの他に「公立大学はこんな教育をやっていて、こんなふうに学生を伸ばしていますよ。」というような積極的なメッセージを発信する場にしてほしいとの意見があった。

報告3 キャンパスガイドの実施状況について

小松学務課長補佐から資料5により平成28年8月7日に開催したキャンパスガイドについて、参加者は372名で昨年に比べ40名増加したこと、個別相談会場をグローバルセンターと学生食堂に加え、学生・就職支援室にも設置したことや当日のスケジュールについて説明がなされた。

次いで、写真により当日の様子が報告された後、アンケートについて、満足であるが78.1%、まあ満足であるが21.9%で、アンケート回答者165名のうち、63.4%が本学への進学を考えているとの回答であったことなどが報告された。

委員から、高校生は大学はどんな雰囲気なのか、どんな講義があるのか、どんな先生がいてどんな先輩がいるのかに大変関心があり、今回のプログラムをみるとフラダンス部のオープンニングと学長のはじめのあいさつによる歓迎の雰囲気づくり、各会場に学生を配置し高校生が学生と気軽にふれあうことができるような機会を配慮しているなど数年前に比べてずいぶん改善されたように感じるという旨の意見があった。

報告4 平成28年度就職活動状況について

竹下就職支援係長から、資料6により、平成28年度の就職状況について、平成28年8月19日現在内々定獲得者が111名（前年同時期84名）、就職確定者実数57名（前年同時期17名）で、今年度は金融業の内々定が多いことなどが報告された。

平成28年度 第5回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

審議日：平成28年9月1日

場 所：各委員への個別説明による審議

出席者：〔委員〕林学長、田中人文学部長、山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、
有馬教務部長、大賀学生部長、年森委員、長友委員、近藤委員
〔事務局〕杉松事務局長、鈴木企画総務課長、小松学務課長補佐

配布資料：資料1 宮崎公立大学学長選考会議委員の選出について

議事1 宮崎公立大学学長選考会議の委員の選出について

資料1 宮崎公立大学学長選考会議について教育研究審議会から選出されていた委員3名のうち1名が欠員となったことから、公立大学法人宮崎公立大学定款第11条第5項第2号の規程に基づき、宮崎公立大学学長選考会議の委員として教育研究審議会から新たに長友委員を選出することについての審議を行い全委員から了承された。

平成28年度 第6回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成28年9月27日（火）10:00～10:55

場 所：中会議室

出席者：〔委員〕林学長、田中人文学部長、山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、大賀学生部長、有馬教務部長、年森委員、長友委員、近藤委員
〔事務局〕杉松事務局長、鈴木企画総務課長、三樹企画総務課長補佐、福嶋学務課長、小松学務課長補佐、山本学生・就職支援室長

欠席者：なし

配付資料

- 資料1 教員の昇任について
- 資料2 平成28年度後期開講科目の担当教員一部変更について
- 資料3 平成28年度公費交換留学生について
- 資料4 平成28年度「基幹演習B」（後期）のテーマについて
- 資料5 平成28年度コーディネート科目「宮崎の郷土と文化」について
- 資料6 高大接続改革の進捗状況について（文部科学省）

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学部長の進行の下、議事に入った。

議事1 教員の昇任について

鈴木企画総務課長から、資料1に基づき、教員の昇任について、11月1日を自薦書提出締切とし、11月7日以降に教員選考会議において業績審査や公開授業、面接等を行い、12月下旬までに教員選考会議が学長に選考結果を報告し、学長が、適任者を可とした場合に理事長に申し出て、理事長が決定することなどが説明された。

審議の結果、了承された。

議事2 平成28年度後期開講科目の担当教員一部変更について

有馬教務部長から、資料2に基づき、平成28年度の後期開講科目の担当教員について、「基礎演習B」「専門演習Ⅱ」「専門演習Ⅲ」の担当教員の一部変更および「マクロ経済学」「経済政策B」「文化人類学」の担当教員の変更、集中講義への変更について説明がなされた。

審議の結果、了承された。

報告1 平成28年度公費交換留学生の受入について

宮元国際交流部会長から、資料3に基づき、平成28年度後期から受入予定の交換留学生（蘇州大学4名、蔚山大学校2名、蔚山科学大学校2名）について、それぞれの受入期間等について報告がなされた。

報告2 平成28年度「基幹演習B」（後期）のテーマについて

小松学務課長補佐から、資料4に基づき、平成27年度から開講している基幹演習について平成28年度後期は「宮崎の歴史と文化財」「地域における図書館の役割」「宮崎市における子育て事情とその課題」「ソーシャルメディアと子どもたち」「観光産業の課題」「スポーツを通じた交流と魅力発信」「中心市街地活性化」「宮崎市の農業」などのテーマで宮崎市の関連部署に講演を依頼し、その講演の中から学生が課題を発見し現地に行ったり、必要な方から話を聞いたりしながら地域課題を自ら体験して学習し、最終的にはプレゼンをして発表することになっていることなどが説明された。

報告3 平成28年度コーディネート科目「宮崎の郷土と文化」について

福嶋学務課長から、資料5に基づき、平成28年度コーディネート科目が様々な角度から「宮崎の郷土と文化」について学ぶ特色ある科目となっており、県民への受講開放も行っていることの報告がなされた。また、大学の教員以外の方にも講義を依頼しており、宮崎県知事による「日本のひなた宮崎県」、宮崎日日新聞社による「地方紙の役割」、宮崎市長による「オンリーワンのまちづくり」などを予定していることが説明された。

報告4 文部科学省における高大接続改革の進捗状況について

小松学務課長補佐から、資料6に基づき、文部科学省が8月31日に公表した「高大接続改革の進捗状況」について、大学入試改革の目標の一つに『明確な「入学者受入の方針に」基づき、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価する選抜への改善』があげられ、その中の「学力の3要素」とは「①十分な知識技能」「②それらを基盤に自ら解を見出す思考力・判断力・表現力」「③基となる主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」とされていることが説明された。また、「記述式問題の導入とその採点方法」「調査書・推薦書の改善」の検討状況についての説明がされた。

さらに、文部科学省から「大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告通知」が平成29年度初頭に公表予定で、それを受けての「各大学の入学者選抜方法の予告・公表」が平成30年度中、それらに沿った入学者選抜は平成32年度（平成33年度入学者選抜）に実施予定とするスケジュールが示されていることがあわせて報告された。

また、田中学部長から高大接続改革の一つである『「三つのポリシー」に基づく大学教育改革の実現に向けて』に沿って、「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」「アドミッションポリシー」について見直し検討作業を行っている旨の説明があった。

また、委員から、これらの高大接続改革の情報について学内の教職員に対し情報共有化を図ってほしい旨の意見があった。

平成28年度 第7回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日時：平成28年11月22日（火）10:00～10:55

場所：中会議室

出席者：〔委員〕 田中人文学部長、山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、
大賀学生部長、有馬教務部長、年森委員、長友委員、近藤委員
〔事務局〕 杉松事務局長、鈴木企画総務課長、三樹企画総務課長補佐、福嶋学務課長、
小松学務課長補佐、山本学生・就職支援室長、梶原室長補佐

配付資料

- 資料1 平成29年度学年暦（案）について
- 資料2 ワイカト大学との学術交流協定等および新規協定校の検討について
- 資料3 平成28年度 大学基準協会による認証評価実地調査について
- 資料4 平成28年度後期「教員相互の授業見学」の実施について
- 資料5 推薦入試等の高校別志願者数について
- 資料6 平成28年度就職内定状況について
- 資料7 平成28年度宮崎公立大学保護者説明会実績報告について

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学部長の進行の下、議事に入った。

議事1 平成29年度学年暦について

有馬教務部長から、資料1に基づき、平成29年度学年暦について説明がされた。前期については、前期授業開始を4月10日とし、卒論計画提出期間を4月24日から1週間とすること、また異文化実習の実施期間を調整して、前期試験期間を7月27日から予備日を含め8月3日とすること、9月24日を前期終了とすることなどについて説明がされた。後期については、後期開始日を9月25日、凌雲祭を学生の要望を入れ10月28日、29日とすること等が説明された。
審議の結果、了承された。

議事2 ワイカト大学との学術交流協定等および新規協定校の検討について

宮元国際交流部会長及び小松学務課長補佐から、資料2に基づき、ワイカト大学から交換留学制度を平成29年6月末に終了したい旨の連絡があったことが報告された。
また、ワイカト大学での国際交流事業の見直しによる変更であることや、現在実施している短期研修（異文化実習）については、今後も継続可能であるとの説明を受けていることなどが報告された。
併せて、今後、ワイカト大学に代わる交換留学先をオセアニア地方、特にニュージーランド、オーストラリアを視野に入れ、調査・検討すること等が説明された。
審議の結果了承された。

報告1 平成28年度 大学基準協会による認証評価実地調査について

田中学部長から、資料3に基づき、平成28年10月27日、28日に大学基準協会による認証評価実地調査が行われたことが報告された。その際に実施された評価委員5名との意見交換会において、国際交流について評価を受けたことや学生の履修単位数が多すぎるとの指摘に対し、今後カリキュラムを検討すると回答したこと、さらに全体として演習を中心によく努力しているとの評価を受けたことなどが報告された。

報告2 平成28年度後期 「教員相互の授業見学」の実施について

有馬教務部長から、資料4に基づき、平成28年度後期の教員相互の授業見学を、各専攻3名の教員の授業を対象に、11月30日から12月2日の期間に実施することなどが報告された。

委員からは、本年前期の授業見学を受けて、学生が自分の講義に何を期待しているのかを考え授業を構築するよう、若い先生の指導に全教員で努力してほしいこと、また今後授業を工夫する際には、できるだけ学生に、気づかせる、考えさせる、発表させる、発言させることなどに視点を置いていただきたいという意見が出された。

報告3 推薦入試等の志願者状況について

福嶋学務課長から、資料5に基づき、11月19日と11月20日に平成29年度推薦入試Iなどを実施し、推薦入試Iの志願者が81名、私費外国人特別選抜の志願者1名、一般編入学志願者2名、私費外国人推薦編入学志願者2名であり、合格発表を12月7日(水)に行うことなどが報告された。

報告4 平成28年度就職活動状況について

山本学生・就職支援室長から、資料6に基づき、11月8日現在の内定獲得者数が153名で、前年度の同期と同数であり、さらに内定獲得企業延べ数、就職確定者実数は若干プラスであるなど3年間同じ状況であることなどが報告された。

また、宮崎市役所に3名、教員に8名の就職が決定したことも報告された。

委員からは、今後の大学の活性化のためには、高校と密接な関係を築くなどの「広報のあり方」、学生に日々力をつけさせる「教育内容の充実」、学生の進路実現に向けての大学の取組みによる「進路の保証」など3つの視点が重要であるという意見が出された。

さらに委員からは、本学ではCA(キャビン・アテンダント)になる学生が多いため、そのことをもっと宣伝しても良いのではないかという意見が出された。

報告5 保護者説明会について

鈴木企画総務課長から、資料7に基づき、平成28年11月6日(日)に開催した保護者説明会の参加家庭数が103組、個別相談件数が39件であり、過去2箇年度と比較すると減っていること、さらに保護者に対して行ったアンケート調査の結果などが報告された。

日 時：平成29年1月24日（火）10:00～10:55

場 所：中会議室

出席者：〔委員〕 田中人文学部長、山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、
大賀学生部長、年森委員、長友委員、近藤委員
(欠席) 有馬委員

〔事務局〕 杉松事務局長、鈴木企画総務課長、三樹企画総務課長補佐、福島学務課長、
小松学務課長補佐、山本学生・就職支援室長、梶原室長補佐

配付資料

- 資料1 3つのポリシーの改定について
- 資料2 本学の建学の理念と3つのポリシー（現行）
- 資料3 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）改定（案）
- 資料4 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）改定（案）
- 資料5 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）改定（案）
- 資料6 平成29年度 前期私費外国人留学生 科目等履修生入学願書提出者一覧等
- 資料7 平成成29年度入学者に係る推薦入試Ⅰの結果等の概要
- 資料8 高大接続システム改革会議「最終報告」（抜粋）
- 資料9 高大接続システム改革会議「最終報告」

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学部長の進行の下、議事に入った。

議事1 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）の改定について

田中学部長から、資料1に基づき、学校教育法施行規則の改正（平成28年3月31日改正、平成29年4月1日施行）に基づき、学位授与方針、教育課程編成、入学者受入方針の3つのポリシーについて一貫性のあるものとして策定し、公表することになっていることなどの3つのポリシーの改正の背景について説明があった。また、「学力の3要素」として「（1）十分な知識・技能」、「（2）それらを基盤にして答えが一つに定まらない問題に自ら解を見いだしていく思考力・判断力・表現力等の能力」、「（3）これらの基になる主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と高大接続システム改革会議最終報告に示されていることが説明された。

次に資料2により現行の3つの方針の概要が説明された。

ついで、資料3により、学位授与方針について、現行方針のわかりづらい部分を整理するとともに、現行の同方針に掲げる教育目標の8つの能力（論理的思考能力、問題解決能力、コミュニケーション能力、語学力、情報処理能力、異文化対応力、積極的行動力、他者と協力する力）を「創造的な問題解決能力」「コミュニケーション能力」「異文化理解対応力」の3つにすることなどの改正案の内容が説明された。

委員から、教育目標の「創造的な問題解決能力」に関し、「創造」ということがやはり大切との

旨の意見があった。

学位授与方針を含む3つのポリシーの改正（案）については、再度学内で協議し次回以降の教育研究審議会で最終的な案を諮ることとして、提案された改正案を継続審議とすることで了承された。

議事2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）改定について

田中学部長から、資料4により、教育課程編成・実施の方針（案）について、現行の方針をよりわかりやすくなるよう改正する旨の説明があった。具体的には、「言語・文化専攻」「メディア・コミュニケーション専攻」「国際政治経済専攻」の専攻ごとの方針、「演習科目」についての方針、さらに「英語教育プログラム」「東アジア言語教育プログラム」「異文化実習プログラム」「情報教育プログラム」「現代教養科目群」のそれぞれの方針を加えたことなどが説明された。

また、「教育方法」や「評価」に関しても追記していることが説明された。

教育課程編成・実施の方針を含む3つのポリシーの改正（案）については、再度学内で協議し次回以降の教育研究審議会で最終的な案を諮ることとして、提案された改正案を継続審議とすることで了承された。

議事3 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）の改定について

田中学部長から、資料5に基づき、入学者受入方針の改定（案）について「求める学生像」と「入学者選抜」の2つの項目から構成することが説明された。

「求める学生像」については、現行の方針をほぼ活かしながら、英語力のコミュニケーション能力のさらなる向上や東アジア言語の選択科目化を見据え「英語のコミュニケーション能力のさらなる向上と異文化に対する理解力や対応力の習得に意欲を持つ人を求める」との改正（案）が説明された。

「入学者選抜について」は、学力の3要素の評価を踏まえながら、本学の入学者選抜の入学者選抜、一般入試（前期日程）、一般入試（後期日程）、推薦入試Ⅰ、推薦入試Ⅱ、帰国生入試、社会人入試、私費外国人留学生入試のそれぞれの試験方法と評価内容について方針を説明することが説明された。

また、一般編入学試験（2年次・3年次）、私費外国人留学生編入学試験（2年次・3年次）の試験方法と評価内容についての方針についても説明がなされた。

さらにこれまで「帰国子女」と表記していた部分を「帰国生」と表記することについても説明がなされた。

委員から「学力の3要素」のうち、「主体性を持って多様な人々と協働する態度」の評価については、アスペルガー症候群の生徒など協調や協働が苦手だったり、できなかったりする生徒の評価をどのようにするのかの課題があるのではないかという旨の意見が出された。

入学者受入方針を含む3つのポリシーの改正（案）については、再度学内で協議し次回以降の教育研究審議会で最終的な案を諮ることとして、提案された改正案を継続審議とすることで了承された。

報告1 平成29年度 前期 私費外国人留学生 科目等履修生について

宮元国際交流部会長から、資料6に基づき、平成29年度前期の私費外国人留学生科目等履修生は4名であり、いずれも蘇州大学の学生で、平成28年度前期からの引き続きの履修であることの報告があった。

報告2 平成29年度入学者に係る推薦入試Iの結果等の概要

福嶋学務課長から、資料7に基づき、平成29年度推薦入試について、受験者81名、合格者58名、入学手続者58名（男12名、女46名）であったことが報告された。

また、私費外国人留学生特別選抜は受験者1名、合格者1名、一般編入学（2年次）は受験者2名、合格者2名、私費外国人推薦編入学は受験者2名、合格者2名であったことなどが報告された。委員から、推薦入試については特に学校との信頼関係が大切である旨の意見があった。

日 時：平成29年2月28日（火）10:00～10:40

場 所：中会議室

出席者：〔委員〕 田中人文学部長、山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、年森委員、
近藤委員、梅津教務副部長

（欠席）有馬教務部長、大賀学生部長、長友委員

〔事務局〕 杉松事務局長、鈴木企画総務課長、福岡学務課長、山本学生・就職支援室長、
三樹企画総務課長補佐、小松学務課長補佐、梶原学生・就職支援室長補佐

配付資料

資料1 3つのポリシーの改定について

資料2 「宮崎公立大学の教育課程等を定める規程」の改正について

資料3 「宮崎公立大学学生の授業出席に関する内規」の改正について

資料4 宮崎公立大学の成績評価に対する学生からの申し立てに関する申し合わせ
の改正について

資料5 「演習に関する学生からの申し立てについて」の改正について

資料6 卒業論文提出に関する不服申し立て制度」の改正について

資料7 「卒業論文の作成及び公表基準」の改正について

資料8 平成29年度開講科目一覧（案）

資料9 平成29年度前期開放授業 開設科目について

資料10 平成29年入学者選抜試験実施状況について

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学部長の進行の下、議事に入った。

議事1 3つのポリシーの改定について

田中学部長から、資料1に基づき、高大接続システム改革会議の最終報告に示された「学力の3要素」や「提出書類等の改善」について説明がなされたあと、アドミッションポリシーについて推薦Ⅰ、推薦Ⅱで評価する出願書類として、「調査書」「推薦書」「自己推薦書」を明記することなど入試別に評価の内容を明示する案が説明された。

さらに、アドミッションポリシーに前回からの継続審議としていたディプロマポリシー、カリキュラムポリシーを加えた3つのポリシーについて説明がなされた。

委員からの、推薦入試の評価対象となる「学ぶ態度」については、高大接続システム改革会議の最終報告では「協働して学ぶ態度」となっているが、発達障害のある学生への評価についてはどう対応するのかとの質問に対して、事務局から、学校が作成する推薦書に「学力の3要素を含む学習の状況」を記載する項目を設け、その記述内容によって評価してはどうかと考えているとの説明があった。

委員からは 発達障害のある学生への対応について、大学側としてしっかりとした考えを持って
いけばよいとの意見が出された。
審議の結果、承認された。

議事2 「宮崎公立大学の教育課程等を定める規程」の改正について

梅津教務副部長から、資料2に基づき、授業科目の名称の変更や新規の授業科目の開講に伴い
宮崎公立大学の教育課程等を定める規程の別表第1、別表第2を改正することについて説明がな
された。
審議の結果、承認された。

議事3 「宮崎公立大学学生の授業出席に関する内規」の改正について

梅津教務副部長から、資料3に基づき、宮崎公立大学学生の授業出席に関する内規の別表第2
学校感染症一覧の第1種感染症に「中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MER S
コロナウイルスであるものに限る。）」を追記することなどの改正案の説明がなされた。
審議の結果、承認された。

議事4 「宮崎公立大学の成績評価に対する学生からの申し立てに関する申し合わせ」の改正 について

梅津教務副部長から、資料4に基づき、成績評価に対する学生からの申し立てに関する申し合
わせうち、申し立てできる期間を「当該学期内の教務部長が別途定めるところとする。」とする改正
案が説明された。
審議の結果、承認された。

議事5 「演習に関する学生からの申し立てについて」の改正について

梅津教務副部長から、資料5に基づき、演習に関する申し立てができるものは「基礎演習A」「基
礎演習B」「基幹演習A」「基幹演習B」「専門演習I」「専門演習II」「専門演習III」「専門演習IV」
に所属する学生とする。」とする旨の改正案が説明された。
審議の結果、承認された。

議事6 「卒業論文提出に関する不服申し立て制度」の改正について

梅津教務副部長から、資料6に基づき、新カリキュラムへの移行に伴い「卒業論文提出に関す
る不服申し立て制度」の「専門演習III」と記載している部分を「専門演習IV」と変更することなど
の改正案が説明された。
審議の結果、承認された。

議事7 「卒業論文の作成及び公表基準」の改正について

梅津教務副部長から、資料7に基づき、「卒業論文の作成及び公表基準」の定める卒業論文研究計画書や卒業論文および概要書を提出する日を「学年暦に記載している大学の指定する日」とする旨の改正案が説明された。

審議の結果、承認された。

議事8 平成29年度開講科目について

梅津教務副部長から、資料8に基づき、平成29年度は現行カリキュラムの1年次から4年次の科目が開講される年度であることの説明があった。

さらに、平成29年度における現行カリキュラムでの開講科目、開講しない科目、新規の科目や各専攻別の基幹科目、展開科目等および旧カリキュラムでの開講科目と開講しない科目等について説明があった。

審議の結果、承認された。

報告1 平成29年度前期開放授業開設科目について

宮元地域センター長から資料9に基づき、平成29年度前期開放授業については、現代英文法、歴史学、異文化間コミュニケーションなど計9科目を開設予定としていることが報告された。

報告2 平成29年度入学者選抜試験実施状況について

福嶋学務課長から資料10に基づき、一般選抜試験の前期は、募集人員90名、志願者304名、受験者265名、後期は、募集人員40名、志願者335名、一般選抜志願者数合計639名であったことが報告された。

平成28年度 第10回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成29年3月21日（火）10:00～10:40

場 所：中会議室

出席者：〔委員〕 田中人文学部長、山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、
有馬教務部長、大賀学生部長、年森委員、長友委員
（欠席） 近藤委員、山本学生・就職支援室長、梶原室長補佐
〔事務局〕 杉松事務局長、鈴木企画総務課長、三樹企画総務課長補佐、福嶋学務課長、
小松学務課長補佐

配付資料

- 資料1 公立大学法人宮崎公立大学 平成29年度計画（案）
- 資料2 宮崎公立大学の教育課程等を定める規程の改正について
- 資料3 研究活動上の不正行為の防止等に関する規程の改正について
- 資料4 教員の採用及び昇任について
- 資料5 平成29年度入学者選抜試験実施状について

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学部長の進行の下、議事に入った。

議事1 公立大学法人宮崎公立大学 平成29年度計画について

鈴木企画総務課長から、資料1に基づき、まず、平成29年度計画が中期目標に沿った第2期中期計画の年度計画になるもので、本年度末までに設立団体（宮崎市）の提出が義務づけられるものである説明がなされた。そして、新カリキュラムが4年目になり初の卒業判定などカリキュラムの適切な運用を図ること、障がい者に配慮した教育環境の充実を図ること、公民館講座を新規に開設することなどが説明された。また、平成32年度からの大学入試センター試験に代わる新テストに対応するための選抜方法を検討することなどの説明があった。

審議の結果、承認された。

議事2 宮崎公立大学の教育課程等を定める規程の改正について（中国語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱの選択科目への変更）

田中学部長から、資料2に基づき、文部科学省「英語教育の在り方に関する有識者会議」の報告書を紹介しながら、今後の日本における英語力の重要性、それにとともなう英語教育の向上と英語力の高い教員の必要性の説明があり、そのような背景から、英語力向上に注力したいと希望する学生には、英語の学習に専念する機会を与えるとともに、「中国語」「韓国語」を学習したい学生には従来どおりその機会を提供するものとして、現在、選択必修科目となっている「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」「韓国語Ⅰ」「韓国語Ⅱ」を選択科目とする旨の説明がなされた。

委員からの質問に応じ、ゼミにおいて英語により指導されているのは、ダッカー先生の専門演習がすべて英語により指導されているが、その他の先生によるゼミは、日本語による指導であると認められるとの説明がなされた。

審議の結果、承認された。

議事3 研究活動上の不正行為の防止等に関する規程の改正について

鈴木企画総務課長から、資料3に基づき、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」に基づく「自己評価チェックリスト」、及び「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づく「取組状況に係るチェックリスト」において、不正使用防止及び不正行為防止に関する体制整備として各研究機関に要請されている事項について、それらを適正に満たすために、研究活動上の不正行為の防止等に関する規程の改正を行うものである旨の説明がなされた。続いて、「研究活動上の不正行為」について、「二重投稿 他の学術誌や書籍等にて既発表又は投稿中の論文と本質的に同じ論文を投稿すること」「不適切なオーサーシップ 論文著作者について、不適切な公表をすること」「その他 利益相反に関する義務違反、守秘義務違反、研究対象者に対する同意の欠落、研究材料・備品等の乱用など、不適切な行為と認められるもの」を追加することなど規程の改正箇所の説明がなされた。

審議の結果、承認された。

報告1 教員の採用及び昇任について

鈴木企画総務課長から、資料4に基づき「教育学」等担当専任教員、「経営学」等担当専任教員、「英米文学」等担当専任教員、「英語コミュニケーション」等担当専任教員として、それぞれ各1名、計4名を平成29年度から採用する旨の説明がなされた。また、准教授から教授へ1名、助教から准教授へ1名昇任することが報告された。

報告2 平成29年度入学者選抜試験実施状況入学試験の実施状況について

福嶋学務課長から資料5に基づき、一般選抜日程前期試験の受験者265人、合格者127人、入学手続者85人であったこと、後期試験は、3月12日実施で受験者93人、合格発表は昨日(3月20日)に行い合格者は50名であったこと等が報告された。